

生命科学研究部長（医学部長）懇談報告

組合は、8月2日、2024年度執行部の交替に伴い6月24日に申し入れていた生命科学研究部長挨拶・懇談を行ないました。研究部側からは生命科学研究部長、事務部長をはじめ5名、組合側は、本部執行委員長、医学部支部長をはじめ7名が出席し、意見交換しました。主な内容を報告します。

基礎医学研究棟の電気代について

組合員より電気代が上がり、各研究室では研究費を削るなど今後の運営に懸念が広がっているとの報告があったため今後の見通しについて質問しました。研究部長は「4月から15%の九電の特別割引がなくなり、国の電気代の補助金もなくなる。また軒並み日本全国の電力会社で値上げとなり、九電は40%の値上げとなる。ただ、本荘北地区と黒髪南地区は特別高圧（特高）という契約になっており、国の補助金の対象とならず、国の補助金の恩恵を受けることなく今までも高い電気代をずっと払っていた。それ以外の普通の電力で契約している地区では6月までよりも金額が1.65倍となる。本荘北地区と黒髪南地区は元々高い金額を払っていたので、1.17倍となる」と回答しました。

国立大学の授業料値上げ問題について

研究部長は「授業料値上げの検討は全学マターだが、医学部には全く情報が入っていないし、会議でも議題に上がっていない。ただ、学長が毎回いろいろな評議会等では説明されており、授業料を上げると言った訳ではないとのことで、全国的に上げることを検討している大学が多いということだと思う。ご存知のように運営費交付金は法人化後毎年1.2億円、この20年間で約21億円減っている。大学規模によって九州大学では20年間で100億円減っている。九州大学がその規模だと大阪大学、京都大学、東京大学では何百億円の運営費交付金が減らされている。そう考えると東京大学が授業料を値上げすると言わざるを得ないような日本全国の大学の状況だ。国立大学協会は声明を文科省にあげている。その中心的な役割を小川学長がされており、学生の負担が極力大きくならないような努力をされている。ただそのような状況なので、苦しい。医学部の場合、昔は講座費が200万円あったが今は普通に計算すると半額くらいになっている。信州大学では2年前にすでに講座費がゼロだ。それだけ地方大学では運営費交付金が減って如何ともし難く、どこから潰れても不思議ではない状態だと思う。小川学長は国立大学協会でそういった働きもされているし、体育館や図書館などのネイミングライツも努力されている。本荘・大江地区で言えば薬学部の体育館、医学部の第一講義室にネイミングライツが入って僅かではあるが少しずつでも学費の値上げを先延ばしできるような努力をしていることはご理解いただきたい」と回答しました。

教員の年休取得状況について

<2022年5日取得率>教員：基礎系93.6% 臨床系96.5% 事務系100%
<2023年5日取得率>教員：基礎系92.3% 臨床系93.7% 事務系100%
組合は、2022年と2023年の5日未取得者が同じ人ではないか確認すること、また未取得者がいる場合、学長に罰金が科せられることになるため引き続き年休5日以上取得を教職員に周知することを求めました。

過半数代表者選挙投票率について

本荘・大江事業場では年々投票率が上昇し、2023年度は60.2%となりました。組合は、過半数代表者は労働者の代表であり大事な役目を担っていることを理解してもらうことを含め、さらに投票率を上げるべく今後の周知徹底の継続を要望しました。

本荘地区駐車場について

産休・育休復帰者入構について <利用者数（病院含む）>2023年度8名 2024年度4名
この制度は産休・育休復帰後3ヶ月間に限り5.1km未満であっても車通勤が認められる制度で、本荘南地区に12台分の駐車スペースを確保しています。しかし、利用期間が短いことから利用者が少ないため、組合は利用期間の延長などの見直しを求めています。このことについて研究部長は「利用実態と本荘地区駐車場のキャパシティの状況を勘案して可能であれば長くしてもいいだろうし、それを長くすると患者様の駐車場が逼迫するような状況であれば、やはりそれは考えなくてはいけない。状況によるので一概にはいえない」と述べました。

本荘地区駐車整理委員会議事録及び収支報告のホームページ掲載について

多くの医学部教職員も本荘地区駐車場を利用していますが、病院施設管理課は議事録および収支報告をガルーンに掲載しており、病院職員以外は閲覧できないため、医薬保健学事務課でも情報を共有し利用者が払った料金の使途を明確に把握できるよう対応することを求めました。

本荘中地区駐車場ゲートの設置について

これまで組合にも不法駐車が多くの報告があがっていました。このことについて研究部長は「2025年4月を目処にゲートの設置を検討していると聞いている。肥後医育記念館の辺りにゲートができて、一方通行で出口が反対側と聞いている。不法駐車が多すぎる。入構許可証の偽造もかなりあるようで厳しく取り締まるようだ」と回答しました。

基礎医学研究棟12階休憩室、会議室について

組合が2019年から要望していた休憩室等の設置ですが、まず2023年7月に休憩室が利用可能となりました。当初医薬保健学事務課は、物価高騰などの影響でこれ以上整備は行なわないとしていましたが、2023年11月に要望や必要性を考慮し80インチモニターやネット環境を整備し会議室を設置しました。会議室の稼働率は80%程度とのことで、基礎医学研究棟で働く組合員からも利用しやすいとの声が組合に届いています。組合は教職員の声を聞き、会議室の設置について再検討した上で設置したことについて高く評価します。

～ 今後の取り組みについて ～

- ・お取り寄せスイーツの会 9月26日(木)、27日(金)
- ・ライフプランセミナー 10月31日(木) 開催予定です！！

詳細は、後日発行する組合ニュースでお知らせします。

組合ニュース	No. 5	熊本大学教職員組合医学部支部	
	2024. 8. 20	内線 5858 メール m-kumiai@kumamoto-u. ac. jp	